



UX デザイン研究室

UX Design Lab.

益岡 了

MASUOKA, Ryo / Professor

ADVANCE 就活生応援アプリ

ADVANCE: A Job Hunting Students Support Application

就職活動は学生にとって社会に出るための最終試験と例えられる。この試験に合格するためには、自身の能力に応じて、企業や社会とのコミュニケーションを理解し、いろいろな対策を講じる必要がある。このアプリケーションはそういった社会に出るうえで必要な技能を直感的に身に着けることを目指したデザイン提案である。

人と接するうえで大切なマナーや礼節といったものを、ARグラスを通して体験することで、文章や映像を見るよりも効果的に学ぶことが可能だ。

コミュニケーション能力向上を目的としたAIによる面接練習機能も搭載している。これにより面接官役を必要とせず、自分の好きな時間に対話することができる。

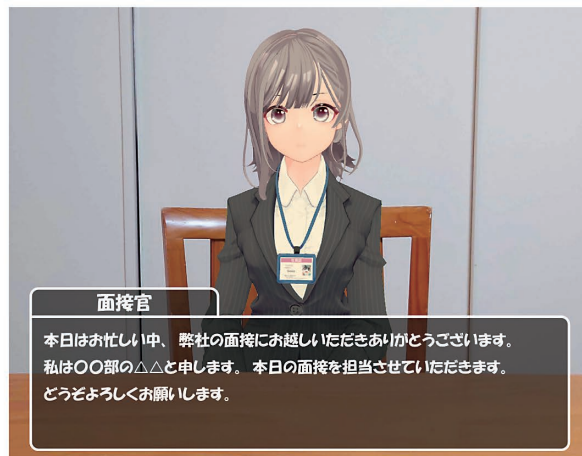
就職活動を頑張る学生の助けになれば幸いです。



木村 海

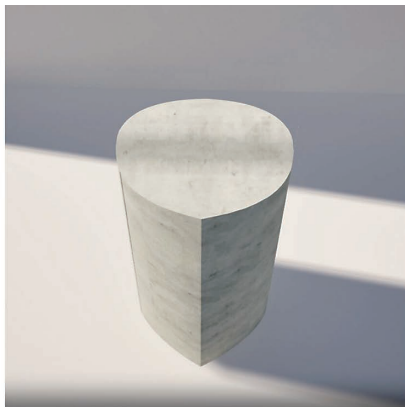
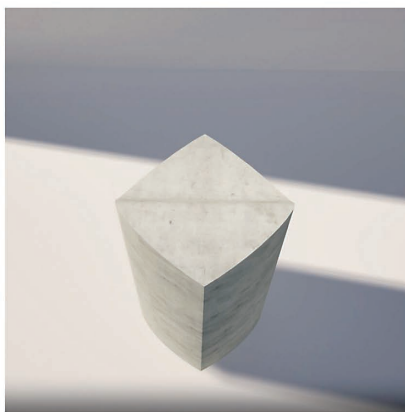
KIMURA, Haruka

ADVANCE



錯覚を用いたストリートファニチャー

Illusory Chair



私たちは物事を認識するとき、経験や固定概念の影響なしに判断することは難しい。それ故に自分が認識した事象が、現実と違っていても錯覚していることに気付かないことがほとんどである。

そこで私は、第12回錯覚コンテスト（2016年）で発表された杉原厚吉氏の『立体変身「丸と四角」』の立体錯視に着目した。これは物体の正面と背面を互いに45°の角度から見下ろした際に一方では丸○、もう一方では四角◇に見えるといった立体で見る角度によって錯覚が生じるものである。

上記の作品より着想を得て、断面が一方では丸●、もう一方では四角◆に見えるような立体錯視を用いたストリートファニチャーを提案する。

北山 秀明

KITAYAMA, Hideaki



スフィア・アンプ 2軸回転機構搭載ギターアンプの開発と提案

Sphere Amplifier: The Potential of Guitar Amplifier with 2 Axes Rotation

デジタル化の進んだライブシーンではエフェクターはおろかアンプも置かず、ステージの上はなんとも淋しくなってしまった。そこでデジタル処理に頼らず、観客やエレキギターを始めた人間が音を聴覚的、視覚的に楽しむためのアンプを開発した。レスリースピーカーを基にギター用のプリアンプを搭載し、2軸回転機構を足元で操作することで自分だけのエフェクトを得られる。アンプおよびエフェクターの新たな形を提案したい。



中山 涼平

NAKAYAMA, Ryohei



現代な生活にあったパイプ椅子

Modern Life Pipe Chair



この椅子は、鉄パイプと自転車のチェーンという一見異なる素材を組み合わせることで、工業的な美しさと機能性を同時に追求しています。シンプルでありながらも、現代の生活に適したデザインが特徴です。座面に使用された自転車のチェーンは、通常の家具には見られないユニークな素材選びで、機能だけでなく視覚的なインパクトも与えます。日常的な素材を用いることで、使い込むほどに愛着が湧く、新しい価値観を提供する椅子となっています。

西尾 太希

NISHIO, Taiki



非常住 災害時に使用する簡易寝床キット

Emergency Shelter: Emergency Portable Bedding Kit

「非常住」は、災害時に役立つ組み立て式寝床キットの提案である。

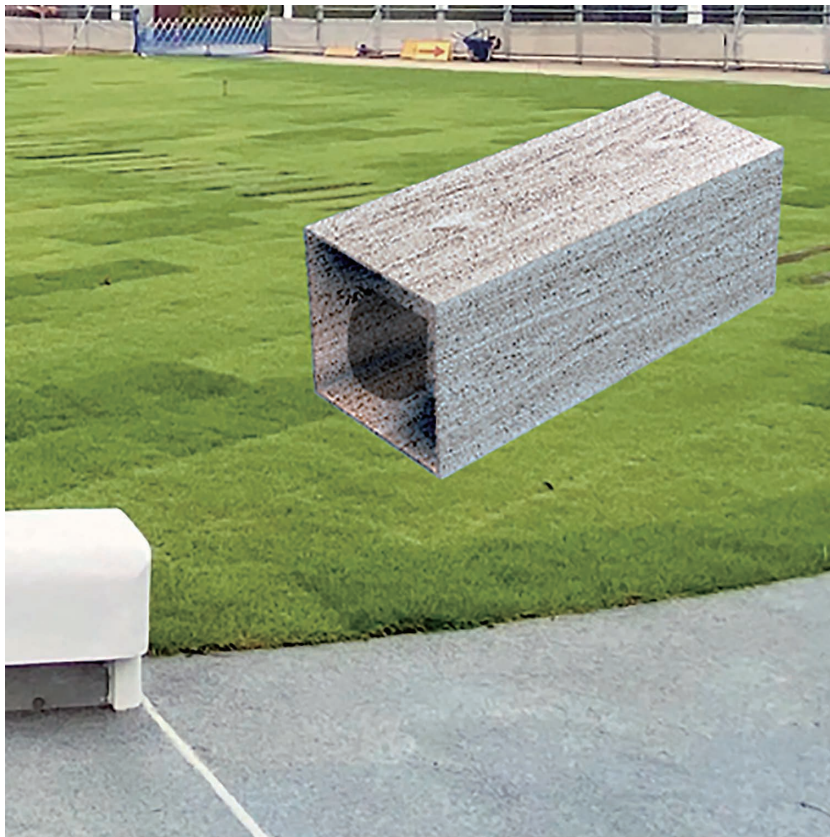
13枚の木製パネルを組み立て、床・壁・天井を一体化することで、簡単にプライバシーを確保した居住空間を設置できる。

災害時の避難所や屋外での利用を想定し、軽量で持ち運びやすく設計した。また、カプセルホテルのようなコンパクトさを意識しつつ、多くの利用者にとって最低限のプライベート空間として使用できるサイズ感を追求した。

本作品を通じ、災害時における安心と心の安らぎを提供することを目指す。

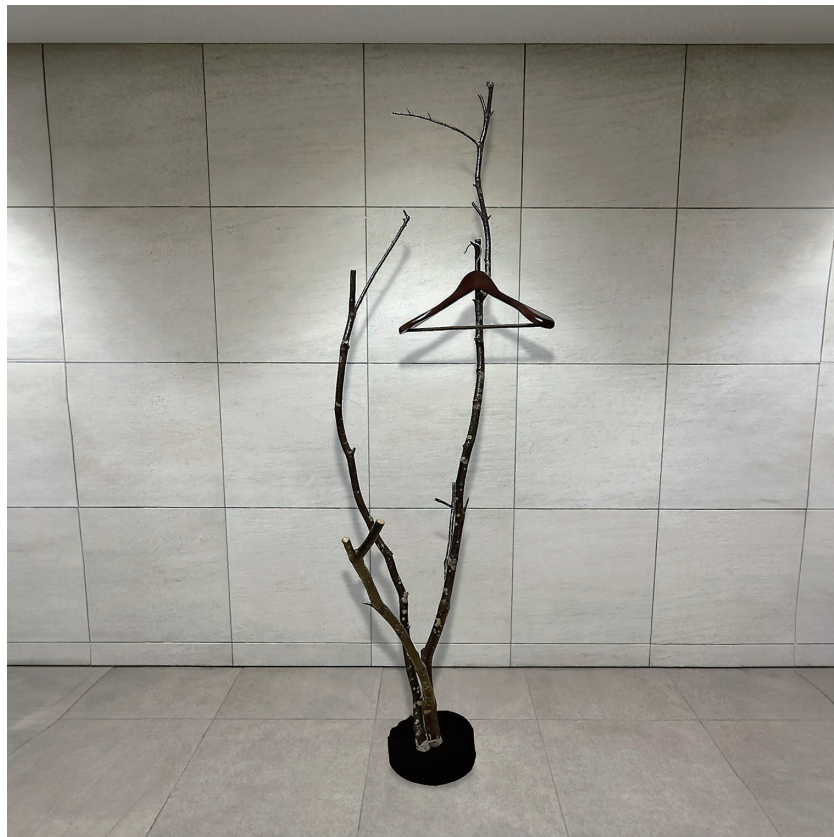


畑野 太希
HATANO, Taiki



木の美しさ 木の造形を用いたポールハンガー

The Beauty of Trees: Pole Hanger with Wooden Formations



人は自然から美を見出す。しかし、現代の住空間においてそのような感覚を持つことは少ない。木製の家具や日用品は多く存在するが、それらは人の手が多く加わっているため自然の造形からは遠く、自然そのものを感じることは難しい。

そこで、加工され変化した姿ではなく、自然本来の姿を活かした家具を提案する。身近な自然の一つである木に着目し、そしてその造形を活かせる家具としてポールハンガーを選んだ。

枝と枝の間、少し突起した部分など服を掛けられる箇所を複数用意したことで、個性を出すことを可能にした。服を掛けない時も、自然の木を感じられるインテリアとして機能する。

藤井 建瑠

FUJII, Takeru

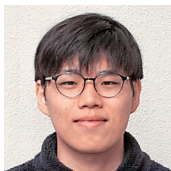


スーツペン アナログペン一体型スタイラスペン

Suit Pen: Stylus Pen Integrated with Analog Pen

スマートフォンやタブレット端末が普及した現代社会では紙の資料の電子化が進んでいる。紙の資料が電子化されることにより検索や共有が容易になった。しかし、現在において全ての紙の資料が電子化されているわけではない。

このペンは資料の電子化がさらに進む少し未来と現在のはざまに適応するためのプロダクトである。デジタル端末用のスタイラスペンの機能を主としながらボールペンを副機能として備え、筆箱に収納して持ち運ぶのではなく端末と共に持ち歩く。



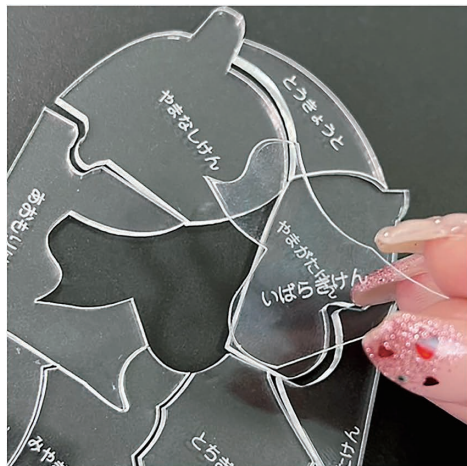
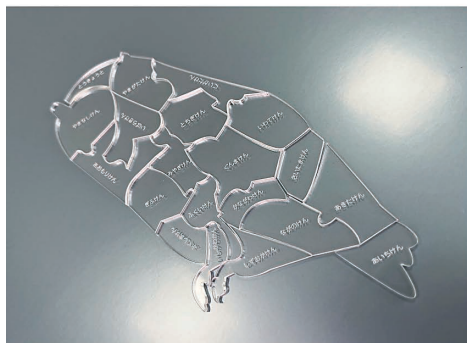
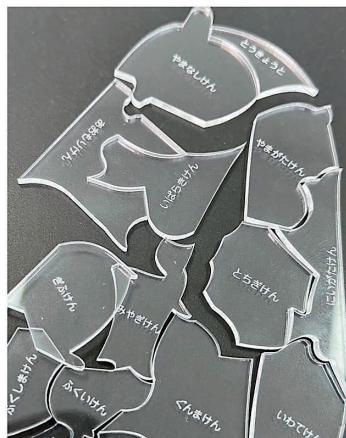
森永 雄己

MORINAGA, Yuki



レッドリストパズル

Puzzle of Red List



レッドリストとは、国際自然保護連合作成の絶滅する恐れのある野生生物のリストです。日本の絶滅のおそれのある野生生物として多くの鳥類が挙がっています。

そこで都道府県別レッドリストの調査し、代表的な4種の鳥を選定しました。動物園などで見かけるコノハズク、ことわざの由来であるオシドリ、普段目にするものの少ないヤイロチョウ、ハイタカです。これらの鳥のパズルをデザインしました。

パズルの1ピースごとが都道府県の形となっており、その鳥の生息域を表します。パズルで遊ぶことにより、鳥への興味、絶滅危惧種について考え方、都道府県の地形について学んで欲しいと考えてこの知育玩具を制作しました。

このパズルが、鳥やレッドリストに興味を持つきっかけになることを願っています。

八杉 望

YASUGI, Nozomi

